

第98号

Super Highway

JR東労組バス関東本部

発行日
2016. 4. 6

スーパーハイウェイ

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：荒井雄太
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
Tel03-3375-5041 (NTT)

～政策実現に向けた職場からのたたかい～ 八日市場分会「防災を考える集い」を開催



バス八日市場分会は4月5日多古町コミュニティプラザ会議室において組合員20名が結集し、「防災を考える集い」を開催しました。中央本部から吉川委員長・森組織担当部長・和田業務担当部長、千葉地本から萩野委員長にもお越しいただき、東日本大震災から5年経った今までの防災の取り組みを「JR東日本の奇跡を生んだ組合員の声」と共に振り返り、職場から創り出す防災について議論を交わしました。

当日集会前にはJR東労組防災士とともに日頃から路線バスを運行している地域において現地踏査を行い、昭和62年千葉東方沖地震で崩れた路線や母家橋の踏査（バスを走行させて強度への不安を検証）や、平成22年台風9号で崩れた法面、平成25年台風26号で灌水した場所をバスの車窓から確認して様々な観点から防災・減災の必要性を組合員自らが感じ取りました。

集会ではJRバス関東東関東支店：角谷支店長から「地域と共に築く防災対策」のテーマで講演をいただき、震災当時いわき支店長として得た教訓を紹介しながら「乗務員と乗客の生命を預かる私達は安全が第一」「乗務員も被災者として命を守る事が大切」であることを学びました。参加した組合員からは「バスから見ているのと違い、実踏調査で路線の危険箇所を再認識することこそが重要だ。」「講演から『社会的責任としての企業防災』として、自治体や住民との連携で創り出す『自助・共助・公助』の精神こそが防災・減災対策に必要なだとわかった」と感想が出され、今後も職場からのたたかいを自らが創り出していくことを参加者全員で確認しました。



角谷支店長から講演をいただきました！！



「自助・共助・公助」
職場一体となって防災・減災の
たたかいをつくりだすぞ！

防災を考える集い

JR東労組

東日本旅客鉄道労働組合千葉地方本部
成田支部バス八日市場分会